

(研究実施に関する掲示ポスター)

当科で緑内障の検査・治療を受けた患者さんへ研究協力をお願い

受付番号 M2024-124

(研究課題名) Deep Learning を用いた緑内障眼の眼底画像解析

(承認番号) M2024-124

(研究期間) 機関の長の実施許可から 2029/6/29 まで

(研究目的) 緑内障は日本人の失明原因の 1 番である、視野が失われる治療の難しい疾患です。眼科では緑内障の評価のためにさまざまな検査機器が用いられています。画像や病気の評価は熟練した医師が行っていますが、最近新しく人間の思考を助ける AI が発明されました。今回緑内障の困難な検査結果の読影について、AI を用いて解析を行うことにしました。

(研究内容) 当院眼科で緑内障・緑内障疑いの診断を 2010 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の期間に受け治療を行った患者さんの治療経過中の画像、診察所見(細隙灯顕微鏡検査、眼底カラー、自発蛍光、蛍光眼底造影、光位相差撮影、静的視野検査、及びその他の一般的検査所見)を用いて、これを評価します。個人を特定出来る情報はすべて削除したうえで研究を行います。収集する情報は通常の診療で取得される範囲のものを使用します。また、研究結果の発表時にも個人情報を使用いたしません。なお、より早く病態を解明し今後の診療に役立てるべく、後ろ向き調査(既存のデータを収集)の方法といたします。研究参加に費用は必要なく、また研究対象者への謝金はございません。以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本研究への参加をご希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出下さい。研究への参加は自由意思によるものであり、不参加のお申し出の場合個人を特定されないような形式にして収集したデータは破棄いたします。その場合でも今後の診療に不利益を被ることは決してありません。研究結果をもとに、より良い診療及び治療に役立ててまいります。

本研究は通常の外来運営費の範囲内で行われます。実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会及び倫理審査委員会で審議され、利益相反状態が存在することによって、研究対象者に不利益が及ぶこと、または研究の公平性に悪影響が及ぶおそれはないと判断されました。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図ってまいります。また研究のために匿名化したデータや解析結果はパスワードロックのかかった眼科研究室のパソコンに保管(保管責任者:杉澤啓吾、保存期間:10年)し、研究終了後はデータを個人を特定されない形式にして復元不可能な状態に処理して廃棄いたします。

(研究についての内容、問い合わせ等の連絡先)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京科学大学病院 眼科学分野 助教 杉澤啓吾

電話 03-5803-5681 (対応可能時間帯 平日 9:00～17:00)

【苦情窓口】東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547 (対応可能時間帯:平日 9:00～17:00)